

## 1 研究テーマ

学校目標

**夢に向かって のびる 杉っ子**

研究テーマ

**認め 関わり 高め合う 児童の育成**  
～つながり合い みんなが参加する 学級・学校づくり～

## 2 研究テーマについて

本校は、近年学力が低下傾向にあった算数の学力向上を目指し、令和3年度まで算数科研究を通して、児童が自ら主体的に学び、友達と励まし合い支え合って思考を深めていく学習を追求してきた。タイムマネジメントを意識した学習過程の工夫や構造的な板書計画等により、児童は学び方を身につけつつあり、今年度も引き続き児童の数学的な見方や考え方を働かせ、学ぶ楽しさやできる喜び、そして学びの本質に迫る学習の実践を積み重ねているところである。しかしながら、説明することに苦手意識を感じている児童が一定数いたり、出た意見や考えがつながり深まるまで至らなかったりし、友達と進んで関わり合いながら課題を追求する楽しさまでは感じ取れていない様子が窺える。

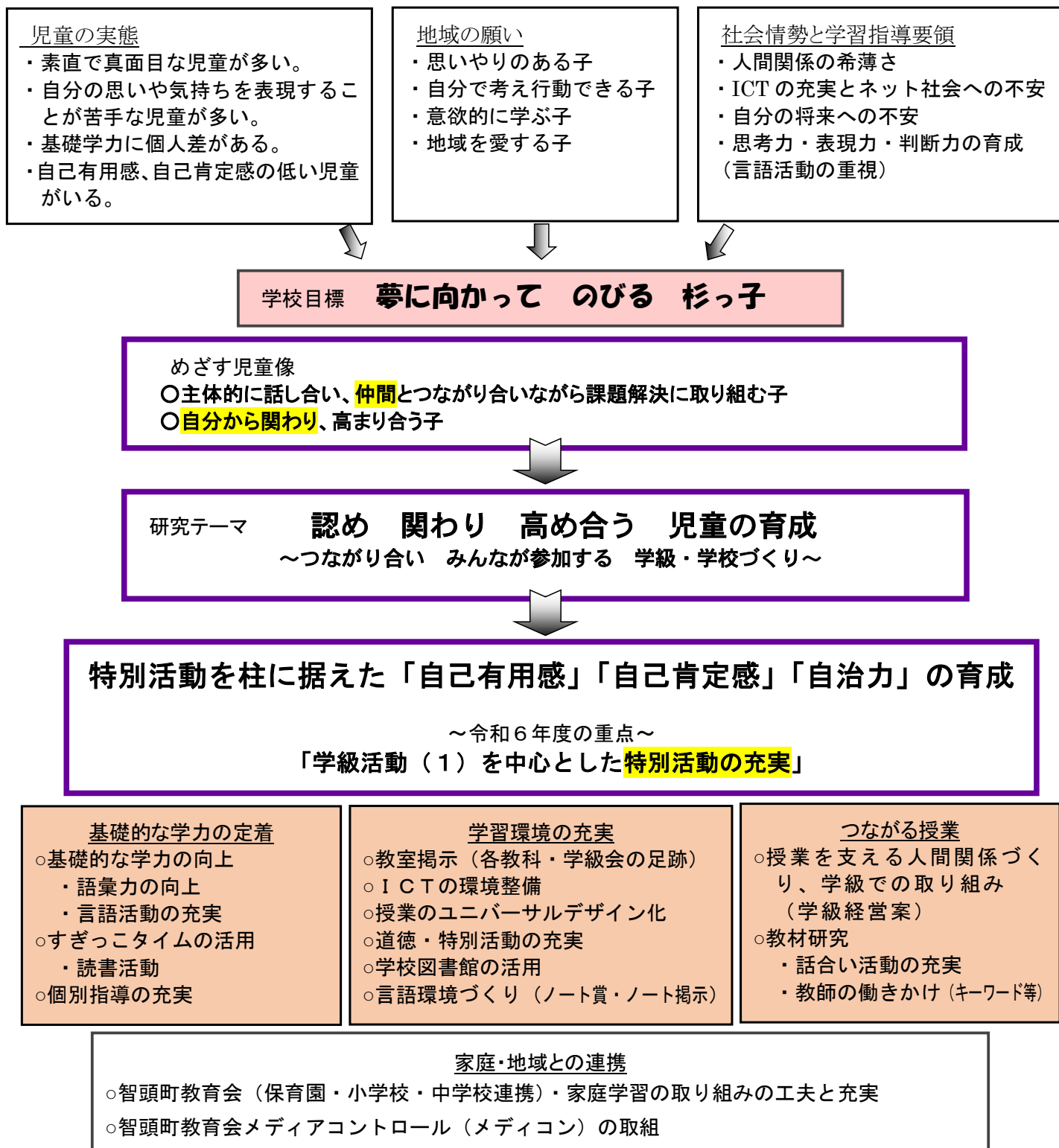
そこで、児童の主体性をさらに高めるために、話し合い活動を通して互いの考えを認め、折り合いをつけながらより良い解を見つける態度を培いたいと考え、令和4年度より研究テーマを「認め 関わり高め合う 児童の育成」とし、研究教科を特別活動とした。今後の社会変化を考えると、自ら主体的にコミュニケーションをとり、相手の考えを尊重しながら協働することが、さらに重要になると思われる。特別活動を通してこうした力を高め、みんなで主体的に学級づくりに参画する生き生きとした姿を児童に身につけさせることで、「主体的に話し合い、仲間とつながり合いながら課題解決に取り組む子」「自分から関わり、高め合う子」の育成を目指したいと考えた。また、研究サブテーマを「つながり合い みんなが参加する 学級・学校づくり」とした。

令和5年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果において、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」に対する肯定的回答が前年度より38.6ポイント高い結果となった。また、令和5年度末に全校児童対象に行った「学級会についてのアンケート」の結果でも、「話し合い活動が好きですか」に対する肯定的回答は前年度より2.7ポイント、「話し合い活動を通して、これまでによかったと思うことがありましたか」に対する肯定的回答は前年度より3.4ポイント、それぞれ高くなっており、これまでの取り組みの成果が数値としても現れ始めている。しかし、「自分のクラスは、友達の考えを認め合えるクラスだと思いますか」に対する肯定的回答は前年度より33.9ポイント低くなっており、互いの意見を尊重しながら聞き合う姿勢や全員の納得解を導き出す折り合いのつけ方の難しさが、取り組みが進んだことによって明らかになってきているものと思われる。また、話し合い活動後の実践や実践後の振り返りを次の活動に活かしていく流れがうまく機能していなかったことに課題があると考えられる。

今年度は本研究の3年目として、学級活動(1)の話し合い活動で身につけた話し合いの基本スタイルを児童会活動や他教科にも繋がるように深めていきたいと考えた。話し合い活動で身に付けた集団で問題を解決していく力が、学び合う学級の雰囲気に関わり、他の教科学習にも波及して学ぶ意欲も高まると考える。さらに、学級会や委員会、代表委員会での話し合い活動と学校行事、学校生活目標、縦割り班活動等を関連付けることで、児童の主体性がより一層反映され、役立つ喜びを実感したり、互いの良さを認め合ったりすることができると考える。児童にとって本校がさらに「行きたい学校」へと変化するよう、一人一人が大切にされる学級づくり・学校づくりへと繋げていきたい。

### 3 めざす児童の姿と研究の全体構想

#### 研究の全体構想

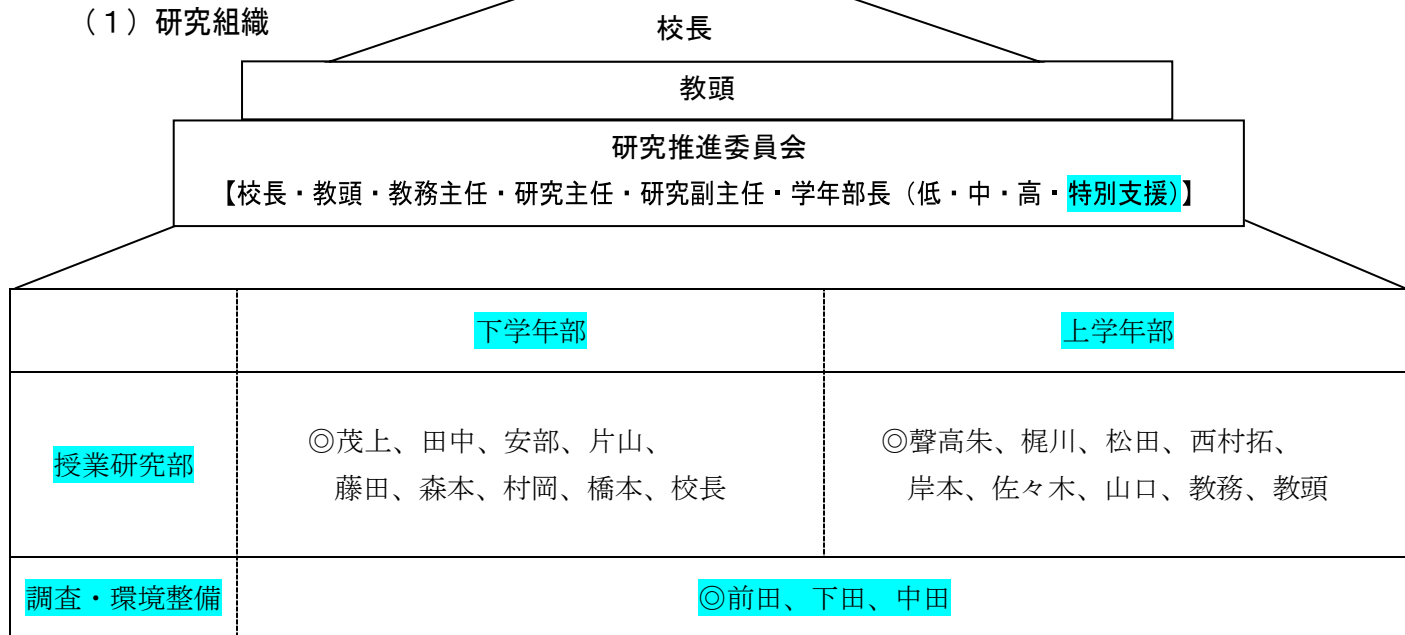


#### 本年度の主な取り組み内容

- 認め合うための話し合いの仕方を身につけさせる（学級会レシピ・話し方の手本・『話し合いでめざしたい8つのすがた』の活用等）。
- 児童会活動（委員会活動や縦割り班活動等）や学校行事との関連を深める。
- 授業や日常生活に話し合い活動で身に付けた力を活かす。

#### 4 研究方法（組織・計画・運営等）について

##### （１）研究組織



##### （２）職員研修の計画

| 月 日       | 曜 | 内 容                 |                                                                                                     | 講師 等                                  | 行事等                                                                       |
|-----------|---|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 1 7 日 | 水 | 全体研究会               | 本年度の重点、共通実践事項等について<br>研究についての意見交流                                                                   | 研究主任                                  | 始業式（8）<br>入学式（9）<br>全国学力・学習状況調査（18）                                       |
| 4 月 2 4 日 | 水 | 学校自己評価 4 部会         | 本年度の計画                                                                                              | P T リーダー                              | 参観日（20）<br>家庭訪問（25、26）                                                    |
| 5 月 1 5 日 | 水 | 校内研修<br>全体研究会（児童支援） | 学力調査の結果・説明<br>特別支援教育<br>個別の指導計画検討会                                                                  | 教務<br>特別支援教育主任                        | 全校遠足（1）<br>とっとり学調（8）<br>運動会（18）<br>第 1 期東部小教研（22）<br>知能検査（24）<br>町教育会（29） |
| 6 月 1 9 日 | 水 | 第 1 回校内授業研究会        | 学級活動（1）<br>3 学年                                                                                     | 東部教育局                                 | 新体力テスト（4）<br>5 年宿泊研修（6、7）<br>保小中合同引き渡し訓練（28）<br>東部教育局、町教委訪問               |
| 6 月 2 6 日 | 水 | 特別支援学級公開            | あおぞら学級<br>そよかぜ学級<br>話し合い活動<br>ほし組<br>にじ組                                                            | 特別支援教育主任<br>早期支援コー<br>ディネーター          |                                                                           |
| 7・8 月     |   | 別途計画                | ・ P T 会議<br>・ 人教育研修<br>・ i-check の結果分析と今後の取組<br>・ 1 学期の研究実践交流と 2 学期以降の共通実践について<br>・ 全国学調の分析と今後の取組 等 | 人権教育主任<br>生徒指導主任<br>研究主任<br>教務主任<br>他 | 個別懇談（9、10）<br>終業式（19）<br>東部小研夏季研（26）<br>始業式（28）                           |
| 8 月 2 1 日 | 水 | 全体研究会               | 特別支援教育                                                                                              | 特別支援教育主任                              |                                                                           |

|        |   |                  |                            |                   |                                                                          |
|--------|---|------------------|----------------------------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 9月11日  | 水 | 全体研究会            | 研修報告等                      | 教務主任<br>研究主任<br>他 | 夏休み作品展（4～6）<br>人権教育参観日(28)                                               |
| 10月s   |   |                  |                            |                   | 6年修学旅行(10、11)<br>小中合同授業研究会(18)<br>就学時健診(22)<br>マラソン大会(24)<br>第3回東部小研(23) |
| 11月27日 | 水 | 第2回校内授業研究会       | 学級活動(1)<br>5学年             | 東部教育局             | 学習発表会(9)                                                                 |
| 12月18日 | 水 | 学校自己評価4部会        | 2学期評価と3学期目標                | PTリーダー            | 標準学力調査（2）<br>個別懇談(10、11)<br>終業式(20)                                      |
| 1月15日  | 水 | 全体研究会<br>部会の話し合い | i-checkの結果分析と今後の取組<br>学年部会 | 生徒指導主任<br>学年部長    | 始業式(9)<br>参観日(25)                                                        |
| 1月29日  | 水 | 全体研究会            | 本年度研究のまとめ                  | 研究主任              |                                                                          |
| 2月12日  | 水 | 学校自己評価4部会        | 本年度評価と来年度取り組み              | PTリーダー            | 6年生を送る会(28)                                                              |
| 2月19日  | 水 | 研究推進委員会          | 本年度研究の評価と来年度の取組            | 研究主任              |                                                                          |
| 3月     |   |                  |                            |                   | 卒業式（18）<br>修了式(21)                                                       |

### （３）研究の進め方

#### ①研修日の設定と運営

- ・全体研究会及びグループ研究会は、原則として、水曜日14時45分から16時30分とする。
- ・授業研究会の日時は、講師の都合や他の学校行事に合わせて決定する。（水曜にならないこともある。）
- ・研究推進委員会は必要に応じて開催し、研究の全体計画の検討や推進、部会の連絡調整等を行う。
- ・夏季休業中の研修は、別途計画する。

#### ②学年部会の役割

- ・学年部会は、発達段階に関わる内容について検討、評価し、必要に応じて提案等を行う。
- ・各部で部長を決定し、部長は必要に応じて部会を持ち、運営と記録を行い、随時提案をする。
- ・校長・教頭は適宜参加し、指導助言をする。

#### ③理論研究

- ・授業の進め方等について、共通理解、共通実践のための研修を行う。必要に応じて専門家の指導を受ける。
- ・可能であれば、県内外の研究テーマにかかわる研修に参加し、先進校の取り組みに学び、報告会をもってその後の研究に役立てる。

#### ④授業研究

- ・本年度は、学級活動（１）全体研の授業を２回（上学年・下学年）、特別支援学級の公開授業を実施する。  
（どの先生も２～３年で１～２回は全体研の授業実践ができるように配慮する。）

|       |                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年度 | 東部小教研：松田 航教諭、梶川大輔教諭<br>全体研：藤田郁人教諭、國岡桂都教諭<br>小中合同授業研：山口憲一教諭、山本 彩教諭、下田美穂教諭 |
| 令和4年度 | 理科研究大会：梶川大輔教諭、東部小教研：松田 航教諭<br>全体研：白岩健太教諭、松田 航教諭                          |
| 令和3年度 | 全体研：梶川大輔教諭、西村拓人教諭<br>小中合同授業研：谷口俊輔教諭、藤田郁人教諭                               |

- ・授業研究会では、基本テーマに沿った提案授業を行う。（講師は東部教育局等へ依頼する）
- ・全体研で授業をしない先生は、授業力アップ研修（アップ研）を行う。**原則として、学級活動（１）を柱として、話し合い活動がある学活（２）（３）、教科での公開もよしとする。指導案は略案や児童の活動計画でも構わない。１週間ぐらい前には教務に予定を伝え、前日までに全職員に配布する。参観は、校長・教頭・教務・各部会メンバー及び参加できる教員とする。参観後、各部の部長が中心となって次のアップ研・全体研に繋がるように研修を行う。**参観者は、参観シートに感想等を記入した後、授業者へ手渡す。授業力アップ研修の日時、教科および議題名を早めに決定し、研究主任が集約し、計画表の作成、印刷等をする。

#### ⑥研究のまとめ・検証

- ・年度初めに「令和6年度研究集録」ファイルを全職員に配布し、各自で研究の成果を綴っていく。**指導案や児童の活動計画を作成して実践をした後、自分の実践を振り返り、成果・課題についての考察や、今後の指導へ生かす点などについてまとめ、研究主任（校内共有の校内研修のフォルダ）に提出する。**年度末に改めて研究のまとめを作成することはしない。学校保存用の集録は、研究主任が作成する。
- ・調査を実施して児童の実態を把握し、取組の成果や課題について検証する。**1学期末と2学期末に実施するi-checkの下記4項目の全児童の回答結果を集計する方法で行う。**教職員アンケートは教務主任と連携して教育反省の中に組み入れる。アンケート内容・方法については、来年度に向けて年度末に見直しを行う。
  - （質問29） あなたの発言は、クラスのみんなを動かす力があると思いますか。
  - （質問45） クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。
  - （質問46） あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。
  - （質問49） クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、提案していますか。

**※「8つのすがたアンケート」は、年2回程度実施する予定**

#### （4）本年度の具体的取り組み

##### ○学級活動（１）と児童会活動との研究の関連について

- ・学活（１）の話し合い活動を中心としつつ、その話し合いの流れを児童会活動にも活かす。
- ・学校行事のスローガンや生活目標などの決定を学級会や代表委員会での議題とし、児童が主体となった学校づくりを目指す。

##### ○学級活動（１）の智頭小スタイルの深化について

- ・学級会に向けた計画委員会を開き、計画委員会のスタイルを形作る。（緑本P46～P48の活用）
- ・学級会の足跡掲示（話し合いの黒板写真、児童の振り返りコメント、決定までのプロセス、話し合いのプラス評価、実際の活動の様子の写真、次回の話し合いの内容、等）を行う。
- ・各自の学級会ファイルに、学級会ワークシートを綴り、話し合い活動に関する成長の足跡を残していく。**学級会後の実践の振り返りを大切にし、次回以降の話し合いに活かしていく。**